

非常食を捨てていませんか？

非常食は普段の生活の中で食べて！ /

「ローリングストック法」で食品ロスをなくしましょう！

賞味期限の切れた非常食を捨ててしまったことはありませんか。普段使わないものは、しまいっぱなしになって管理を忘れがちです。忘れないためには、賞味期限が迫るのを待たずに普段の生活で消費していき、消費した分だけ新たに買い足す方法(ローリングストック法)がおすすめです。

毎月1日は非常食を食べる日と決めれば、買って来た非常食が口に合うのか、量は足りるのか、ライフライン停止時にも食べられるのかなど、いろいろなことに気が付き、非常食のゴミ箱行きもなくせます。



知っておこう、災害ごみ /

災害時こそ分別が大切になります！

災害時には大量のごみが発生し、ごみの処理が円滑に行われないと、災害復興の遅れにつながります。分別は必要と覚えておいてください。

実際にあった災害時のごみ捨てトラブル

- ① 中身の入った冷蔵庫をそのまま廃棄 **NG!**
→ 中身が腐敗し、悪臭・害虫が発生します！そのままでは処分もできません。
- ② 分別されていないごみの持ち込み **NG!**
→ 災害廃棄物の仮置場は多くのトラックで混雑します。スムーズに降ろせるようにあらかじめの分別が必要です。
- ③ 対象外のごみの持ち込み **NG!**
→ 災害に便乗してごみを処分することは絶対にやめましょう。



災害発生時には、普段のごみ回収が停止することがあります。災害情報に注意を払い、路上にごみがあふれかえることが無いようご協力ください。

停電した場合を
想像してください

電力はさまざまな原因で停止することがあります。冷蔵庫・冷凍庫に頼り過ぎた生活をしていると、突然の停電で、大量の生ごみを抱えてしまうかもしれません。食品の保存に大活躍の冷蔵庫・冷凍庫ですが、詰め込み過ぎや過信には気を付けましょう。